

2019年6月26日
北海道電力株式会社

カイゼンの推進体制の強化について

当社は、これまで設備更新や補修工事、資機材調達などにかかる費用の低減に取り組んでまいりましたが、さらなる効率化・コスト低減を実現するため、2018年12月に経営企画室にカイゼン推進グループを設置し、発電部門および送配電部門においてトヨタ式カイゼン※（以下、「カイゼン」）に取り組み、対象業務で約2倍から4倍の生産性向上を達成いたしました。

7月1日より、このカイゼンの取り組みを全社大に展開するため、推進体制の強化を図ることといたします。

カイゼンは、ほくてんグループ全体の経営基盤強化につながる取り組みとして、今後も精力的に展開し、グループ社員ひとりひとりの意識改革を図りながら、一層の生産性向上を目指してまいります。

※業務プロセスを詳細に時間で表現した見える化を行い、そこからムダ・問題点を抽出し、ムダの徹底的な排除、課題の改善により仕事の各工程の磨きこみを繰り返して生産性の向上をはかる手法。

1. 推進体制の強化

(1) カイゼン推進室の設置

新たに選任する担当役員の指揮のもと、カイゼンを当社全部門に留まらずほくてんグループ全体へ展開し、社員の意識改革を促し、業務全般の生産性の向上に取り組めます。

(2) 本店各部へのカイゼン担当部長の配置

本店各部におけるカイゼン責任者として、当社の現業機関、関係するグループ会社および協力会社と一体となってカイゼンを推進します。

2. 実施日

2019年7月1日

【添付資料】カイゼンの推進体制の強化について

以上

カイゼンの推進体制の強化について

2019年6月26日
北海道電力株式会社

(余白)

■これまでの取り組み

- さらなる効率化・コスト低減に向け、2018年12月に経営企画室内にカイゼン推進グループを設置し、発電部門および送配電部門においてトヨタ式カイゼン（以下、カイゼン）に取り組んできました。
- 対象業務において、約2倍～4倍の生産性向上を達成しました。

これまでの主なカイゼン事例

ネットワーク営業部門：再生可能エネルギーの接続申込みの受付業務における対応・処理時間の削減

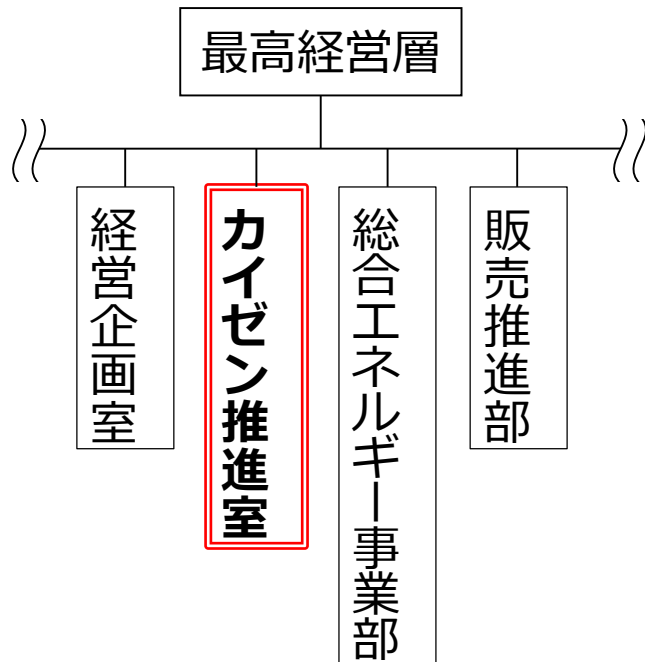
工務部門：変電設備の点検業務における所要時間の削減

通信部門：通信設備の回線運用業務における所要時間の削減

■ 推進体制の強化

- 当社本店に「カイゼン推進室」を設置するとともに、カイゼン推進室を所掌する担当役員を選任します。また、本店各部にカイゼン担当部長を配置し、全社大で取り組んでいきます。
- 今後、カイゼンの取り組みをほくでんグループ全体へ展開し、社員の意識改革を図り、一層の生産性向上を目指してまいります。

組織図（イメージ）



取り組みの展開イメージ

